



る う て る



2023 年
10
No.910

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円(郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-71734

説教 「不信仰を赦す神」

日本福音ルーテル三鷹教会牧師・ルーテル学院大学チャプレン 高村敏浩

「その子の父親はすぐに叫んだ。『信じます。信仰のないわたしをお助けください。』」

(マルコによる福音書9:24)

「不信仰は主要な罪であり、すべての罪の中の罪であるのだから、罪の赦しとはもっぱら不信仰の赦しであるに違いない。アメリカのルーテル教会の神学者であるロバート・ジェンソンは、その神学的自伝の中で自

身の神学生時代を振り返り、当時強く影響を受けた19世紀スウェーデンの信徒説教者カール・オロフ・ロセニウスの言葉を紹介します。ロセニウスは、神が私たちの不信仰―神を信じられないということ―を赦されると

筆活動には、1522年に出版された新約聖書の翻訳も含まれます。ルター不在のヴィッテンベルクではしかし、ルターと同僚たちの手によって改革が急激に推し進められました。急進的な改革は街に混乱をもたらし、それは騒乱へと発展しま

なく、「生きた声」である説教を一ペトロ全体のテーマに据えます。そうして行われた連続説教は、ある種、福音説教についての説教と言えるような内容でした。福音説教とは何かを明確にし、説教者を育てることこそ、

「このいう主とは、霊のことですが、主の霊のおられるところに自由があります。『コリントの信徒への手紙』3:17

カタン、カタン、ゴトゴト。『カーテン開けてもいいですか?』シャー。入院中お一人おひとりのベッドはカーテンで仕切られていました。

朝、二人の方のカーテンを開けるとその方はベッドの上に乗って何かをさがれておられ、いつも寝たきりが多かった方が今ベツ



聖マリエン聖堂(ヴァッテンベルク)の祭壇画(下部) ルーカス・クラナッハ作・1547年

1521年のヴォルムス国会で帝国アハト刑を受けたマルティン・ルターは、その帰途、誘拐を装って姿を消します。それは、彼の領主がルターを守るために行ったことでした。そこから1

同年5月から翌年初頭に掛けて、ルターはペトロの手紙二の連続説教を行います。彼は、この書簡の冒頭に登場する「イエス・キリストの使徒ペトロ」の「使徒」という言葉を、「語る者」、「口頭で宣べ伝える者」と、若干強引とも思える解釈をして、「書かれた文字」では

「このいう主とは、霊のことですが、主の霊のおられるところに自由があります。『コリントの信徒への手紙』3:17

発行
日本福音ルーテル教会
定価
1,100円(税込)

教会手帳 2024

教会手帳 2024

10月2日発売予定

※お求め先
北海道キリスト教書店
TEL:011-737-1721/FAX:011-747-5979
静岡聖文堂
TEL:054-260-6644/FAX:054-260-5612
名古屋聖文堂
TEL:052-480-8090/FAX:052-480-8091
広島聖文堂
TEL:082-208-0022/FAX:082-208-0177
キリスト教書店ハレルヤ
TEL:096-372-3503(FAX共用)
日本福音ルーテル教会事務局
TEL:03-3260-8631/FAX:03-3260-8641

便利な住所録付き
教会および牧師
日本福音ルーテル教会/日本ルーテル教会
近畿福音ルーテル教会/西日本福音ルーテル教会
フェローシップ・ディコンリー福音教会
日本ルーテル同助教団/ルーテル福音キリスト教会/その他
各種事業
学校/幼稚園/保育園/社会福祉協会/社会事業
マスコミ/キャンプ・ホテル・貸会議場/その他
宣教師

皆様のご意見ご感想をお待ちしております。日頃お買いになられる皆様のご意見ご感想をお寄せください。1冊お手帳の裏に入っている封筒に入れてください。他にご意見を記入の上、メールまたはFAXにてお送りください。
MAIL:soumu08@jelc.or.jp FAX:03-3260-8641



伊藤早奈

④3でできるよ

悲しむ主人公に「変化は悲しいものではないよ。当たり前前のことなんだ。」と語られる絵本のシーンを思い出します。

地面へと落ちた葉は地面を温め新しい命を育みます。失った能力や人やものの、立場かもしれない。そんなことに囚われて今用いられていることに気付かないだけなのかもしれません。できたことができなくなるって病気のせいであつても、怪我のせいでも、老いの結果でも辛いし悲しいです。前はできたのにと思う事もあります。

ただ「今のあなたが大切だよ」と語られています。



改訂 宣教室 5

小泉基 宣教室長
(日本福音ルーテル
札幌教会牧師)

熊本で行われたルーテル社会福祉協会の総会の後、運営委員のひとりである光の子会の山下学さんにお話を伺いました。
――山下さんは光の子会では、どのような働きをなさっておられるのですか？

6つの事業を展開していますが、その中で私が園長を任じられているのは児童発達支援センター光の子学園です。簡単に言うと知的障がいのあるお子さんの特別支援幼稚園のような働きを担う場です。3才から6才までのお子さん36名が毎日通ってきます。
――お子さんたちは可愛いのでしょうか。
山下 めっちゃ可愛いです。子どもたちに癒やされながら毎日の働きを覚えていきます。
――とはいえ、障がい児の支援には難しいこともあると思います。
山下 そうですね、一番難しいのは保護者への支

援です。お母さんたちの多くは、自分が障がいのある子どもを産んだことをマイナスに受け留めていて、独りでその責任を背負ってしまっています。ですから保護者学習会などで、あなたの責任ではなくそれは神さまのご計画です。神さまのつくりた命には全てに役割や目的があり、全ての子どもが宝です。だから独りで背負わずみんな育てていきましようと話しています。また、保護者自身が障がいや精神疾患を抱えていたり、虐待ハリスク家庭のケースもあります。職員とともに支援に取り組んでいます。通所ならではの難しさもある

り簡単ではありません。
――山下さんが障がいの者福祉の道を歩まれることになったきっかけを教えてください。
山下 大学で心理学を学び、教職特殊教育教育課程の教育実習を養護学校(現特別支援学校)で1ヶ月間経験したことが方向転換の契機となりました。母教会に障がい者が多く集っておられたことも背景にあったかもしれません。
――自身の教会での経験もおありだったのですね。大切にしている聖書の言葉があれば、教えてください。
山下 「わたしの兄弟であるこの最も小さい者



山下学さん近影

世界の教会の聲

浅野直樹 Sr.
(世界宣教主事
市ヶ谷教会スオミ教会牧師)

氷河のレクイエム ドイツの気候変動と教会

先頃ドイツ最高峰の山の頂上で行われたある祈りが注目を集めました。消えゆくアルプスの氷を悼む鎮魂、氷河のレクイエムです。
ツークシュピツェは標高2962メートル。ドイツにある4つの氷河のうち2つがここにあり、バイエルンのルーテル教会とミュンヘンのカトリック教会の聖職者たち

は、気候変動と創造の保全をアピールするため、ここでエキュメニカルな祈りをささげました。
ウィルヘルム牧師らは7月25日、「消えゆくシュニネーファナーナードイツにある最大の氷河」、大自然そでのちを育む将来の環境のための祈り」を、アルプスで一番人気の観光スポットでささげました。選ばれた聖句は詩編121編「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。消滅する氷河を悼み、気候変動の課題に共に取り組もうと呼びかけました。
北シュネーフェルナーは、2030年までにはもはや氷河と呼ぶことはできないと科学者は言います。2014年から2022年にかけて3分の1の水が消えました。当初、最深部で39メートルあったのが昨年は27メートルに。世界気象機関によるとスイスのアルプスでも2001年から2022年にかけて3分の1の水が消失しています。

人々の不安を募らせ、牧会的な課題になりました。ツークシュピツェの麓で暮らす人たちは、頂上にはもはや瓦礫と岩石しかないと言ショックを受けています。
レクイエムに参加した一人バーバラさんは、「ツークシュピツェの氷河は永遠の水」だと学生時代に習ったことを思い起こし、永遠の水が消えてなくなると聞かされ心を痛めています。
レクイエムでは教会音楽家のロヒナー氏が作曲した「永遠の水の果てへのエレジー」が演奏されました。3人の歌手が不協和音を奏でて詩編81編から「わたしの民よ、聞け」と歌うと、それに合わせてボンゴがゆつくりリズムを刻み悲しみの音を響かせました。

「教会讃美歌 増補」解説

解説④3 増補46番

「喜ぶ人と共に」

北川逸英
(日本ルーテル教団池上教会・
杉並聖真教会牧師)

46番から49番の4曲は歌集『うたえ 暗闇にとどまることのないように』からの転載です。この歌集は、「黙想と祈りの集い準備会」により、テゼの歌に触発され「日本でも同じ様に歌いたい」という強い願いに込めて2012年に初版、201



5年に改訂増補版が出版されました。掲載曲91曲中、塩田泉司祭の作品が60曲を数え、この歌集の柱となっています。

「喜ぶ人と共に」は、ローマの信徒への手紙12章15節から着想を得て、作詞も塩田泉司祭が行われました。この詩は塩田司祭が暮らす共同体での、毎日の営みが感じられます。小高い丘の中腹にある見晴らしのよい美しい村で、主を中心にして、共同生活を営む人

たちの上に与えられる、豊かなキリストの愛と、吹き渡る聖霊の風を感じます。中庭には聖母子像が置かれ、台座には「愛」「LOVE」と併記され、海外からの客人も多く受け入れられます。
「黙想と祈りの集い準備会」の中心メンバーであり、歌集『うたえ...』にも賛美歌を提供する植松功さんはよく「歌うことは祈ることです」と言われています。みなさまどうぞ、祈りをもってゆつくり、何度も繰り返しお歌いください。

「こころふくは しづかなせかい」
北川逸英
(日本ルーテル教団池上教会・
杉並聖真教会牧師)

作詞者八木重吉は1898年東京府南多摩に生まれます。そこに今も記念館があつて、代表作「素朴な琴」の詩碑が建っています。

この明るさのなかへ
ひとつの素朴な琴をおけば
秋の美しさに耐えかねて
琴はしづかに鳴りいだすだろう
この詩は大正13年10

この詩は死後に刊行された第2詩集『貧しき信徒』(1928年)に収められています。重吉は1927年10月25日深夜ふいに「かわいい、かわいい」とみ子」と呟き昏睡。翌日29歳で帰天。22歳の妻とみ子に4歳の桃子、2歳の陽二が残されました。しかしこの子たちも、父親と同じ肺結核で思春期に相継ぎ帰天。彼女の悲嘆を思う時、八木重吉の詩(うた)が、とみ子を強く励ましたと信じます。

月に編まれた「欠題詩群(二)」の中にありました。その96編の作品中に3つだけ、題のついている詩があります。かつこが付いた(わが児と、題名だけが明記された、幸福人Iと幸福人IIです。
何を思つて重吉はこの詩を作り「幸福人II」と名付けたのか。またどうやつて塩田司祭はこの詩を見出し、そこにメロデーを付けられたのか。静かで美しいこの歌は、山上湖のような深い不思議を秘めています。

人々の不安を募らせ、牧会的な課題になりました。ツークシュピツェの麓で暮らす人たちは、頂上にはもはや瓦礫と岩石しかないと言ショックを受けています。
レクイエムに参加した一人バーバラさんは、「ツークシュピツェの氷河は永遠の水」だと学生時代に習ったことを思い起こし、永遠の水が消えてなくなると聞かされ心を痛めています。
レクイエムでは教会音楽家のロヒナー氏が作曲した「永遠の水の果てへのエレジー」が演奏されました。3人の歌手が不協和音を奏でて詩編81編から「わたしの民よ、聞け」と歌うと、それに合わせてボンゴがゆつくりリズムを刻み悲しみの音を響かせました。

避けれられない悲しい現実、直面しつつも、ハンメル牧師はこの異例のレクイエムによって希望を鼓舞して、力を合わせて気候変動に取り組もうと呼びかけました。「この頂にサハラ砂漠の砂が舞い、燃えさかるブラジルのジャングルの灰が飛び交い、都会のすすと埃、全世界の塵がここにありま

す。氷河、人々、気候植物、動物、私たち全てはつながっているのです。」

十

キリストと出会った十なかまと出会った！
東海教区青年会＋外国メンバー修養会2023

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺

教会復活教会牧師・

東海教区外国人宣教担当

人たちの集まり。外国や各地のお菓子ボックスで教会にお礼をしました。が、教会からは飲み物やスイカも頂き感謝でした。

8月12日、青年と外国メンバー、サポーター達15名が夏の渥美半島に集まりました。みどり教会田原礼拝所をお借りして礼拝とワークショップ、海辺B B Q公園で昼食と交流会。礼拝は現地教会三部メンバーも参加して下さり25名。自己紹介・神様紹介あかしではみな日本語で頑張り楽しく交流しました。8カ国に関係ある

ルーテル幼稚園保育園
連合会研修会報告

田島靖則

（ルーテル幼稚園保育園

連合会役員・日本福音

ルーテル田園調布教会・

雪ヶ谷教会牧師）

コロナ禍にあつて久しく開催が見送られてきた対面形式の研修会が、8月8日（火）広島教会礼拝堂にて行われました。今回は総会を兼ねた設置者・園長研修会であり、主題を「平和」とし、塩治節子さんの被爆証言を聞き、広島女学院所蔵の被爆ワイオリンの演奏を聴く機会にも恵まれました。

を言い間違えた失敗談を披露してくれたベトナム女性メンバーが優勝！教会「スタンフラー」カードを配つて数えてみると、中国帰国メンバーが1位で2位は女性青年メンバー。楽しい表彰式と賞品も。最後は、みんなの手でハートを

作って写真撮影写真下右。ギリストの平和を心に、仲間と世界に平和を」のテーマを形にし、神のハート（愛のなかに自分たちがいることも確認しました。

参加者の声を拾うと、「荷物運びがあり前泊もしました。海で泳ぎ夕陽もキレイでした。集会もとても楽しかった。今年結婚しました。高蔵寺教会でもお



祝いしてくれうれしかったとベトナムから来て5年のHienくん（集合写真前列最右）。近年青年は少なく残念ですが、渡邊先生が地道にZOOM集会をしてきています。昨年クリスマス以来で、みんなと会えて楽しかったです。ハートの写真も大切にします」と青年代表の古川のぞみさん（後列右から3人目。今年も各教会を訪ね、青年や外国メンバーともつながり、広げたいですね。

就学前の園児たちを対象とした平和教育には、特別な配慮が必要とされま

さんお姉さんを奪うものだったのです。おどろおどろしい表現はあえて採らず、とてもシブシブな表現を用いることで、幼児を対象とした平和教育の新しい可能性を考えることができました。

塩治節子さんは5歳の時に被爆された方で、5歳児の目から見た被爆体験を語って下さいました。親しかつた2人のお友達の名前を挙げて、原爆投下後にその2人のお友達が犠牲になったことを知ったというのです。5歳の子どもにとつて、戦争は親しいお友達を奪い、家族を奪い、優しかった近所のお兄

被爆証言とヴァイオリン演奏会を企画してくださった、谷の百合幼稚園の橋本園長の協力に感謝いたします。また、会場を提供してくださった広島教会の立野牧師の「子ども食堂」への取り組みを学び、当日行われていた「だれでも食堂」を見学しながら食事をいただく機会にも恵まれました。

第一部の総会では、2024年度からの新しい役員が3つの地区からそれぞれ2人ずつ選ばれました。今までのように、関東と九州で交互に役員を選出する方法を改め、すべての地区から役員を選ぶことが可能となりました。これは、コロナ禍によつてリモート会議の利点が認識された結果であり、対面開催の役員会の頻度を減らしても、全国規模のネットワークを常に保つことが可能になったということです。全国でキリスト教保育の働きを続ける、ルーテル教会の関係園のために、どうかお祈りください。

リレーコラム

「全国の教会・施設から」⑤



日本福音ルーテル
仙台教会

長島慎二

（日本福音ルーテル

仙台教会代議員）

仙台教会の伝道は長沼三千夫牧師によつて始められました。1957年8月4日（日）、現在地の近くの家を借り、六畳間で第1回の礼拝が行われました。出席者は牧師家族と小泉あや子姉でした。2年後の1959年、宮町に拠点を移し、1962年12月に教会堂および

牧師館が完成しました。長沼牧師とともに最初期の伝道を担ったのがDavid C. Livingston宣教師でした。1955年にサウスカロライナ大学を卒業した後、1958年、コロンビアにあるルーテル神学校を修了と同時に United Lutheran Church of Americaの牧師として叙



仙台教会定礎式

ために船旅で横浜に到着したのが1959年9月4日。大学時代に出会った奥様と17カ月のお嬢様を伴っていました。2年間の語学研修を終えた後、1961年12月に仙台教会に赴任なさいました。その後、通木二成牧師の時代の1971年に東教区鶴ヶ谷開拓伝道実行委員会が設置され、東教区内にお

いて坪献金運動を開始しました。1973年4月7日、「社会福祉法人東京老人ホーム鶴ヶ谷保育所希望園」として鶴ヶ谷開拓伝道献堂式が挙行されました。最初は、希望園のホールで礼拝をしていた鶴ヶ谷教会は、1987年、現在の教会堂を建設しました。仙台地区は、仙台教会と鶴ヶ谷教会がそれぞれの役割を担い伝道を続けてきました。が、昨年より組織合同をし、ひとつの仙台教会となり、宮町礼拝堂と鶴ヶ谷礼拝堂において礼拝が守られ、3つの保育所が運営されています。

最後に、仙台教会が初任地であり、最後の赴任地ともなった太田彦牧師が最初に赴任した際の牧師報告の一部を記します。信徒として励みにしているからです。「初めての任地」に赴くに際して、私は神が人間

に語り給うが故に聴き、神が語り給うことを聴くという、この二事によつて教会は基礎づけられ、この二事のみが教会を教会たらしめるという一点を信念として携えてまいりました。」

九州ルーテル学院大学

雪野啓子

（黒髪乳児保育園園長）

九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園は2026年に創立100周年を迎える、学校法人九州ルーテル学院には保育園、認定こども園、中学、高校、大学がありま

す。九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園は2016年に開園し、今年8年目を迎えます。九州ルーテル学院大学付属として、学院のスクールモットーである「感恩奉仕」の精神のもと保育・教育を行つていきます。生後2カ月から3歳児までのお子様をお預かりし、定員40名という少人数のよさを生

かし、子どもが愛に包まれた安心・安全な生活を送ることを大切にしながら、一人ひとりの心身の調和のとれた発達を目指し、神様に愛され、いつも見守ってくださることに感謝しながら、温かく丁寧な保育に努めています。保育園は熊本を流れる白川の近くに所在し、学

院から少し離れたところにあります。園児は学院や教会へ出かけて、キリスト教行事を経験したり、学院の崔大凡チャプレンに保育園に来ていただき、お祈りの時間を守つたりしています。

子どもの育ちのためには保護者支援は欠かせないものです。本園は九州ルーテル学院大学保育ソーシャルワーク研究所と連携して「保護者フリーストック相談室」を開催しています。保護者を支え、子育てを支えることは子どもの最善の利益を守ることにつながることを実感しています。職員が二つになつて子ども・保護者それぞれが持つ豊かな力を伸ばしていけるよう支えていきたいと思っています。

キリスト教保育が始まり、浅い年月ですが、これからも神様のお導きのなかで保護者の方とともに子どもの健やかな育ちのために保育・教育に努め、歩んでいきたいと思ひます。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。



礼拝の様子

「これからのミッション」
―第14回あさるうてる法人会連合研修会・総会 開催―

安井宣生
(現地実行委員・
日本福音ルーテル
健康教会・中佐教会牧師)

8月22日から23日まで熊本の九州学院に150名が集い、あさるうてる法人会連合の研修会と総会が開催されました。130年前の宣教開始以来教会のみならず、1902年の佐賀幼稚園、1909年の路帖神学校(現在の九州学院)そして神学校、1919年の慈愛園(福祉事業)として教育や福祉の器と共に世に仕えキリストに従う歩みでした。2002年、それぞれに成長した各法人がより密接に協力し合うことを目的に、あさるうてる法人会連合が発足し、互いに学び、祈り、それを力にして、仕える取り組みが続けられてきました。

今回の研修では、国際

2023年
「障がい者週間」の集い

小澤周平
(NCC「障害者」と
教会問題委員会委員・
日本福音ルーテル
千葉教会牧師)

各教会にご案内が郵送されますが、2023年11月4日に「障がい者

れるような90分でした。目の前にある難題を考えながらも、参加者みなさんと心地よいひと時を共にできたのは希少な体験でした。もうひとつ印象に残ったことがあります。

政治学者であり、熊本県立劇場館長、学校法人鎮西学院学院長も務めておられる姜尚中先生を講演者として迎えました。その豊かな内容を学校法人から参加された宮本新牧師(ルーテル学院・神学校准教授)に短く振り返っていただきました。「これからのミッション」と題された姜尚中先生の講演では、「これから」を語るためには、まず「これまで」を振り返り考えなまで」を振り返り考えなければならぬ」と語られ、その振り返りは、こんにちの教育と福祉を取り巻く情勢から、歴史や文学、そして人間について縦横無尽に広がる話題であり、要約容易ならざる内容でした。実際に生の講演を聞いて感じたいくつかのことがあります。まずテレビなどでお馴染みのとおり、あの低く抑制の効いた声音に引き込ま

気宇壮大なスケール感のある講演でしたが、どの話題でも生身の人間が自然と思いつくような話しぶりでした。甘い話はどこにもありませんが、あたたかな、やさしいまなざしが注がれているような感じでした。ひろがえつてそれは、分野は違っても生身の人に向き合い仕事に打ち込んでいる諸法人の参加者に向けられたエールのようにも感じられました。講演中、「おい」は決してメディアでは伝えられてないと話されていたのが二層、印象的です。それは人が共に集い、なにかを学びとろうとするこのひと時にも共通することだったのかもしれない。

JELA インド・ワークキャンプ
2024参加者募集！

一般財団法人JELAが、2019年以来5年ぶりに、インドでのワークキャンプを実施いたします！

【日程】2024年2月12日から22日の11日間※国際情勢等により変更の可能性があります。

【派遣先】インド・マハラシュトラ州ジャムケツドの医療福祉施設「Comprehensive Rural Health Project(包括的農村保健プロジェクト、略称:CRHP)」

ここでは「農村地域の人々の健康」をテーマに、医療、子ども教育、有機農業指導、ソーシャルワーカーの育成など、幅広い取り組みがされています。

【内容】義足作り／児童とのふれあい／毎日の学びの分かち合いなど

【対象】18歳以上の健康な方(原則高校生不可)

【定員】10名(先着順)



※締切後、参加の可否を11月中にご連絡します。

【参加費】22万円

※友だち割引・複数人での申し込みの場合、1人につき5千円割引いたします。

※パスポート取得費用、海外旅行保険費用、事前説明会参加のための交通費、集合・解散場所間の交通費や、前泊・後泊の宿泊費用については、別に個人負担となります。

【事前説明会】2023年12月2日(土)に事前説明会(オンライン参加可)を予定しています。参加者は必ず出席いただきますので、併せてご予約ください。

【申込方法】JELA公式WEBページまたは掲載しているQRコードから。

【申込締切】2023年11月20日(必着)

【お問い合わせ】JELA インド・ワークキャンプ係
電話 03344711521
E-mail: jela@jela.or.jp



北海道地域合同教師会

岡田薫
(日本福音ルーテル
帯広教会牧師
・札幌教会協力牧師)

JELC北海道地域教師会では長年に渡りNRK北海道地区の教職と共に合同教職者会を毎夏開催しています。いつどのようにして始まったのかということは不明ですが、1997年に札幌で宣教研修生としてお世話になつた際もすでに開催されて

いましたので、おそらく北海道特別教区発足時あるいはそれ以前から続いているものと思われます。

かつてはJELC8教会、NRK9教会に牧師あるいは宣教師が専従しており、参加者も十数名と賑やかでした。研修内容も時に応じて教団ごとの個別プログラムと合同プログラムの二本立てとし、2泊3日のプログラムを温泉施設等で開催していました。現在ではJELC4教会(6礼拝堂)、NRK8教会となり、教職数もJELC3名、NRK5名(内2名は70歳以上)となり、札幌中央ルーテル教会を会場に宿泊はビジネスホテル利用の1泊2日の合同

同プログラムとして開催しています。双方の教職の多くが施設と教会あるいは複数教会を兼任しているため日程調整が難しく、札幌に参集することが経済面でも移動の利便性においても合理的だからです。コンパクトにはなりましたが、リトリートも兼ねた交流を通して全道に散らされている同労者たちと励まし合えることはありがたいことです。

それぞれの教会が抱えている課題には①働き人の減少、②教会の維持管理、③関係施設との連携や経済的な課題など、共通の悩みも少なくありません。教会組織の在りようには違いもありますが、顔と顔をあわせて祈りと讃美を共にしつつ、忌憚ない意見を交わし合う中で、新たな発見や取り組みが生まれることもあります。2017年には合同教職者会が中心となつて数年間の準備を経て、宗教改革500年合同修養会を参加者のべ130名ほどで開催することができました。また札幌を中心とした道央地区では、10月31日の宗教改革記念礼拝を担当持ち回りで継続的に開催しています。

信者その他利害関係人各位
所在地 東京都新宿区市谷砂土原町二丁目一番地
宗教法人「日本福音ルーテル教会」
代表役員 永吉秀人

合併契約の案の要旨
1 宗教法人「日本福音ルーテル教会」は宗教法人「日本福音ルーテル羽村教会」を吸収合併し、宗教法人「日本福音ルーテル羽村教会」は解散する。

合併公告
このたび、東京都羽村市羽東二丁目16番11号、宗教法人「日本福音ルーテル羽村教会」を吸収合併することになりました。これについて異議ある債権者は、2023年12月18日までに、その旨申し述べてください。

宗教法人法第34条第3項の規定により公告します。
2023年10月15日

債権者各位
所在地 東京都新宿区市谷砂土原町二丁目一番地
宗教法人「日本福音ルーテル教会」
代表役員 永吉秀人

【訂正とお詫び】機関紙あさるうてる2023年9月号、一面「巻頭説教」の執筆者である秋山仁牧師の所属に誤りがございました。正しくは「日本福音ルーテル豊中教会・神戸東教会牧師・喜望の家代表」です。訂正してお詫びいたします。校正作業における確認を徹底してまいります。大変申し訳ございませんでした。